

まちなかの交流拠点：福岡市警固公園実施設計

～車のない駅前広場の形成を目指して～

株式会社アーバンデザインコンサルタント
 大杉哲哉、堤八恵子、棚町修一、小峯裕
 協力 カツノ風景デザイン室：勝野靖弘
 あい環境設計研究所：扇輝久



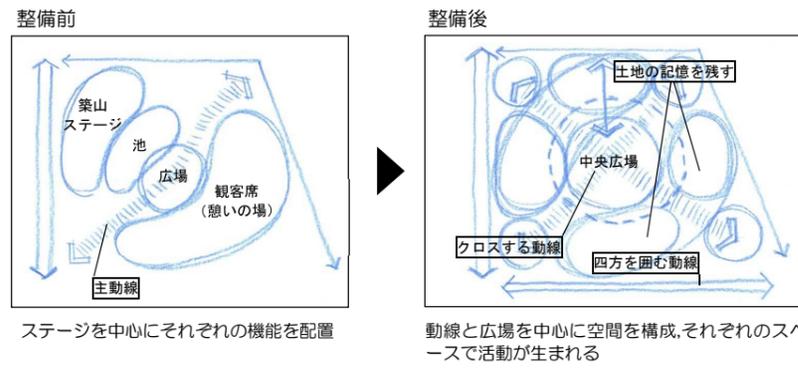
公園名称：警固公園 面積：11,382㎡
 所在地：福岡市天神2丁目22-1
 開園：昭和26年
 改修：平成元年6月完成
 再整備：平成24年12月完成

●警固公園の位置

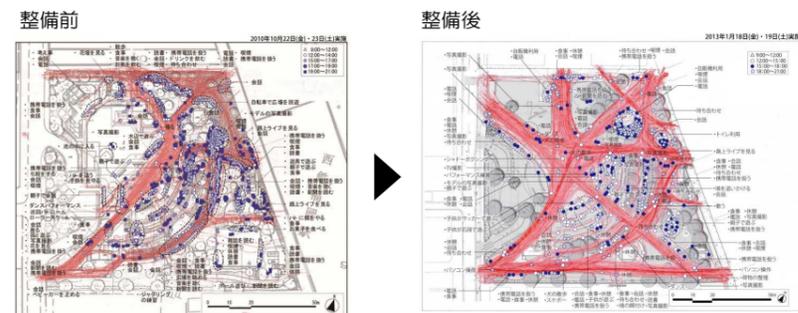


警固（けこ）公園は、福岡市天神地区の中心にあり、百貨店や複合商業施設に囲まれている。「西鉄福岡天神駅」と市営地下鉄「天神駅」が隣接しており、天神地区を訪れる人の玄関口として、多くの市民に親しまれている。

●空間構成の方針



●動線及び利用実態調査（福岡大学工学部景観づくり研究室）



●整備テーマ

まちなかの交流拠点：天神の中庭

都心部に立地する貴重なオープンスペースとして、周辺の商業・業務施設と連携し、天神地区の中庭として、緑豊かな憩いと、賑わいの空間を形成する。

●整備の方針

都心の広場としての公園の役割を見直す

一般的な都市公園の機能だけでなく、周辺施設との一体的な活用や、景観づくり等について役割の見直しを行う。（機能の特化）

周辺からの人の流れを交差、交流させる場所に改変する

憩いの場としての滞留機能に加え、駅や施設を利用する歩行者の交差点として、また、人々が交流する場所として改変する。（車の無い歩行者の駅前広場機能）

これまで親しまれてきた土地の記憶を継承する

警固公園は、開園以来、天神の変遷とともに公園も姿を変えながら人々に親しまれてきた。計画に際しても、これまで親しまれてきた土地の記憶を可能な限り残し、活用していく。



●土地の記憶を表現した円形のデザイン



●イベント空間として



●休憩施設のデザイン



●隣接商業施設



●園路・小広場のデザイン

